

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

### 次世代海洋エンジニア会を本格始動

今般、当会会員企業における若手技術者の人材育成の一環として、「次世代海洋エンジニア会 (NGMEA : Next Generation Marine Engineer Association)」の第1回交流会を、8月31日～9月1日の2日間にわたり、会員企業31社41名の参加を得て実施した。本事業では、同一メンバー参加の下、今後2年間にわたり計5回の交流会を実施し、業界の更なる発展に寄与すべく、会員企業の横の繋がりや新たな視点に基づく協調領域のあり方に関する検討等を行う予定。

本事業は、平成30年10月に当会技術開発戦略検討委員会で取り纏めた「今後の技術開発事業のあり方」において、今後の船用工業を支える若手技術者職員の、①技術者としての能力向上・育成、②海事クラスター内の技術者の交流・ネットワーキングの構築、③異分野の技術者との交流を通じた意識改革、④異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出が必要とされたことを受けて、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築く機会を提供することを目的としている。

これまで、令和2年1月に27社33名参加の下で本件のトライアル事業、令和3年2月にはそのフォローアップ事業を実施し、これらの経験を踏まえて本事業のプログラムを策定した。

第1回交流会は、現下の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、完全オンライン形式で実施した。

初日には、宇津木智氏(株)宇津木計器 代表取締役社長)による「海事産業の課題と現状」、安藤英幸氏(株)MTI 取締役 船舶物流技術部門 部門長)による「欧州システムインテグレーター vs 日本の船用工業の現状について」と題した講義を行い、その後、グループディスカッションによって「我が国の船用工業が如何にして海外企業に対するイニシアチブをとっていくか」について議論した。2日目には、若木豪人氏(IT業界)による「共創の重要性と実践法」と題した講義を行った後、NEWRON(株)による「顧客視点に立った製品開発に関するアイデア創出とその協調領域の発掘に焦点を当てたアイデアソン」を実施した。

当初は緊張した面持ちであった参加者もオンライン上ではあるものの、2日間にわたる講義やグループワークを通して自由闊達な議論を交わすことで、打ち解け合いつつ講師や参加者相互に啓発される様子が見て取れ、成功裏に終了した。

1. 実施期間：令和3年8月31日（火）～9月1日（水）

2. 実施形式：オンライン

3. 参加者：31社41名（50音順）

(株)赤阪鐵工所、イーグル工業(株)、(株)宇津木計器、(株)MTI、(株)カシワテック、  
(株)京泉工業、(株)ササクラ、(株)サンフレム、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、  
大晃機械工業(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、高階救命器具(株)、  
(株)鷹取製作所、(株)帝国機械製作所、東京計器(株)、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、  
バルチラジャパン(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ヒエン電工(株)、  
(株)日立ニコトランスミッション、(株)福井製作所、富士貿易(株)、古野電気(株)、  
兵神機械工業(株)、三浦工業(株)、三菱重エマリンマシナリ(株)、山科精器(株)、  
ヤンマーパワーテクノロジー(株)



宇津木社長講演



安藤様講演



参加者集合写真①



参加者集合写真②

(事務局問合せ先)

技術部 文屋/三田村 TEL: 03-3502-2041 E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

以上